

令和元年度
事業報告
及び
附属明細書



社会福祉法人

大津市社会福祉事業団

令和元年度事業報告及び附属明細書 目次

○事業報告	・・・・・・・・	1頁
・事業報告書【総括】	・・・・・・・・	1頁
・評議員、役員名簿等	・・・・・・・・	4頁
・組織図	・・・・・・・・	9頁
・本部	・・・・・・・・	10頁
・老人福祉センター	・・・・・・・・	15頁
・デイサービスセンター	・・・・・・・・	17頁
・ホームヘルプサービス事業	・・・・・・・・	18頁
・障害者相談支援事業	・・・・・・・・	20頁
・特別養護老人ホーム榛原の里	・・・・・・・・	21頁
・さがみ川老人憩いの家運営事業	・・・・・・・・	25頁
・ふれあいプラザ	・・・・・・・・	26頁
・介護員養成研修事業	・・・・・・・・	27頁
・木戸コミュニティセンター	・・・・・・・・	28頁
○事業報告の附属明細書	・・・・・・・・	29頁
・社会福祉充実残額算定シート	・・・・・・・・	30頁

令和元年度事業報告書

【総括】

大津市社会福祉事業団では、「みんなが一步前へ！ 新しい活動の種をまこう」をキャッチフレーズに、第2期中期計画（平成30年度～令和2年度）の2年目として、【特養・短期】、【通所】、【在宅・居宅】の主要3部門でそれぞれ協議を行い、集中的に取り組むプロジェクトを決定し取り組みを進めてきた。また、計画の実現のためには、計画の理解と実践が欠かせないことから、昨年度に引き続き、6月～7月に職員に向けての説明会を8回開催し、144名が参加した。

各部門での取り組みを進める一方、「事業団は一つ」を目標に、経営改善や職員の意識改革、人材育成等を進め、理念に掲げる「みんなを笑顔でつなぐ事業団」のもと、「利用者・職員・地域」の三者満足の実現を目指し、主に次のような取り組みを行った。

質の高い福祉サービスの提供については、各事業部門独自のスキルアップ研修会の開催や、他法人施設の先進事例の視察研修を立案実施し、職員への報告会を開くことで情報の共有を図り、今後の事業運営の参考とした。また、特別養護老人ホーム榛原の里では、前年度に続き、滋賀県老人福祉施設研究協議大会に参加し、「食と尊厳」をテーマにケアワーカー3名による取り組み発表を行った。さらに、倫理委員会を新たに設け、既存の「看取りに関する指針」を再検討し、全職員が看取りに対する共通認識を持ち、尊厳ある最期が支援できるよう取り組みを進めた。

新規事業の推進では、事業団の基本方針である「地域に貢献する事業団」の実現に寄与するため、大津市が令和2年7月から開設を予定されている真野地域包括支援センターについて、公募型プロポーザル方式による業者選定に参加し、令和2年1月のプレゼン審査を経て、委託決定を受けた。令和2年7月の開所に向けて、現在準備を進めているところである。

現事業の再構築については、居宅介護支援事業についてこれまで7事業所体制で運営を進めてきたが、人材を集中してケアマネジメント機能の向上と体制の強化を図り、特定事業所加算を目指すため、事業所の一部統合再編について検討を重ねてきた。その結果、令和2年4月より大津市内全域を5事業所でカバーする体制に再編することとなった。同時に、職員配置も見直し、新たに2事業所において特定事業所加算を取得する。なお、これら地域包括

支援センター運營業務の受託及び居宅介護支援事業の見直しに伴い、令和2年4月に組織改革を行い、居宅・包括事業部門を新しく設置することとなったことから、役割定義検討委員会に諮問して役割基準書の改定を行い、事業部門の経営を担う職務についての役割定義の新設、見直しとグレード評価を行った。

経営基盤の強化については、職員が地域における各種団体の会議や多職種連携会議に参加し、施設の周知や意見交換を通じて、地域との連携強化を図るとともに、地域ニーズ等の情報把握にも努めた。

人材育成では、ヘルパーステーション副所長を対象とした階層別研修を開催し、副所長に求められる役割や事業団が副所長に求めるものについて研修を行った。今後、他の階層においても研修を実施していく計画である。また、自己研鑽の支援として、平成30年4月1日から介護福祉士や介護支援専門員の資格の取得や更新への助成金や奨励金を支給する制度を開始したが、令和元年度は21名に対して60万円余りを支給した。さらに、令和2年4月1日より奨励対象とする資格を拡充し、支援の一層の充実を図る。

法人の安定経営に向けては、平成31年4月1日より人事・給与制度改革（第2期）として、役割等級制度の本格運用を開始し、これまでの年功序列型の人事制度を、職員の努力や成果が反映される制度に改めた。また、職員の待遇改善として、介護職員に支給される処遇改善加算について、従来の「処遇改善加算Ⅲ」から「処遇改善加算Ⅰ」に変更して4月より算定を開始し、賃金改善を実施した。さらに、10月より新設された「特定処遇改善加算」も算定を開始し、更なる賃金改善に取り組んできた。

一方、同一労働同一賃金の取り組みとして、短時間労働者及び有期雇用労働者の雇用管理の改善等に関する法律が令和2年4月1日に施行されるにあたり、正規・非正規職員間の格差解消のため、時間当たり賃金の均衡を図るとともに、休暇制度をはじめとする福利厚生制度の見直しを実施し、令和2年4月1日から適用した。

特別養護老人ホーム榛原の里では、平成31年4月に短期入所を4名減らし、長期入所を4名増やす定員変更を行い、稼働率の安定を目指した。しかしながら、介護職員の退職等に伴う後任の補充が進まず、夜勤ができる職員数が大きく不足する事態となり、サービスの質の低下や重大な介護事故につながる懸念されるため、11月より長期・短期入所ベッドの1割を計画的に空床にし、職員配置を見直すことで、困難な中での夜勤体制維持を図った。その結果、11～12月は長期・短期合計で1日平均105名の稼働となった。なお、

4月までには職員確保にも一定の目処が立ったことから、令和2年度のできるだけ早い時期に元の体制に戻して、計画的空床を解消していく予定である。

経営改善では、業務の効率化や職員の定着を促進するためのICT機器の導入に向けて、特養・短期部門や在宅・居宅部門で積極的に検討を重ね、先進事例の視察や業者によるプレゼン等を行った。令和2年度の早い時期の導入に向けて取り組んでいく。

大津市から指定管理業務を受託している5つの老人福祉センター及び木戸デイサービスセンターについては、平成30年度から5年間、指定管理者として受託経営しているが、引き続き大津市との間で今後の事業のあり方について協議を行っていく。

地域への貢献では、民生委員や社会福祉協議会との連携強化を図るとともに、地域からの要請により職員が出向いて行う地域講座を開催した。また、不足する介護人材の育成に向けて、令和元年度においても介護職員初任者研修及び生活援助従事者研修を実施し、それぞれ24名、15名が修了し、うち4名が事業団に就職した。

介護職員の人材確保は大きな課題であり、令和元年度においては人材確保が進まなかったことから、介護保険事業収入において当初の見込みを下回ったところもあった。ご利用者に安心・安全なサービスを提供するためには、職員一人ひとりの意識と実践とともに、サービスを提供する体制の充実が必要であり、人材確保はその前提となる。今後も人材の確保と職員の定着に向けて、更なる取り組みを進めていく。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響については、大津市からの「新型コロナウイルス感染症に係る市の施設閉鎖要請」に伴い、令和2年3月6日より老人福祉センター、唐崎デイサービスセンターの一部を閉鎖し、生きがい事業を中止している（ただし、デイサービス事業については継続して実施）。今後の感染状況による国、県、市の動向を確認していく中で、再開に向けて対応していく。

【評議員・役員名簿等】

1 評 議 員

(令和2年3月31日現在)

氏 名	所 属 団 体 ・ 役 職 等	就 任 年 月 日
片 山 義 和	社会福祉法人滋賀同仁会特別養護老人ホーム千寿の郷所長	平成29年4月1日
木 村 隆	大津市医師会会長	平成29年4月1日
竹 内 俊 彦	社会福祉法人大津市社会福祉協議会会長	令和元年7月1日
津 田 洋 子	大津市民生委員児童委員協議会連合会会長	平成29年4月1日
野 口 真 一	公認会計士・税理士	平成29年4月1日
松 田 輝 男	大津市老人クラブ連合会会長	令和元年6月6日
國 松 睦 生	大津市総務部長	平成30年6月8日

(定員7名)

2 役 員

(令和2年3月31日現在)

(1) 理 事

役 職 名	氏 名	職 名	就 任 年 月 日
理 事 長	舩 見 順	大津市社会福祉事業団専任理事	令和元年6月25日
副 理 事 長	西 村 和 利	大津市健康保険部長	令和元年6月25日
理 事	石 塚 吉 輝	榛原の里利用者家族会代表	令和元年6月25日
	藤 木 季 美	大津市健康推進連絡協議会副会長	令和元年6月25日
	江 隅 定 雄	特別養護老人ホーム榛原の里所長	令和元年6月25日
	塩 見 弥 奈	滋賀県ホームヘルパー協議会会長	令和元年6月25日

(定員6名)

(2) 監 事

役 職 名	氏 名	職 名	就 任 年 月 日
監 事	服 部 彰	元大津市総務部長	令和元年6月25日
	井 口 敏 行	大津市会計管理者(兼)出納室長	令和元年6月25日

(定員2名)

3 評議員会

開催回等	開催・付議年月日	議案番号	付議事項	議事結果
第1回	令和元年6月25日	議案第1号	平成30年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団の計算書類等の承認について	承認
		議案第2号	理事の選任について	同意
		議案第3号	監事の選任について	同意
第2回	令和元年11月21日	議案第4号	令和元年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団補正予算（第1次）について	同意
第3回	令和2年3月27日	議案第5号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団定款の一部変更について	同意
		議案第6号	令和元年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団補正予算（第2次）について	同意
		議案第7号	令和2年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団事業計画及び予算について	同意
		議案第8号	理事の選任について	同意
		議案第9号	監事の選任について	同意
		報告事項	社会福祉法人大津市社会福祉事業団経理規程の一部変更について	

4 理事会

開催回等	開催・付議年月日	議案番号	付議事項	議事結果
第1回	平成31年4月1日	議案第1号	理事長の選定について	選定
第2回	令和元年6月6日	議案第2号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団経理規程の一部を改正する規程の制定について	同意
		議案第3号	平成30年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団の事業報告及び決算の承認について	承認
		議案第4号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団評議員選任・解任委員会委員の選任について	同意
		議案第5号	評議員の推薦候補者について	同意
		議案第6号	令和元年度定時評議員会の招集について	同意
		議案第7号	施設長の任免について	同意
		報告事項	(1)理事長の職務執行状況の報告について (2)平成30年度社会福祉法人等指導監査結果報告について	

開催回等	開催・付議年月日	議案番号	付 議 事 項	議事結果
第 3 回	令和元年 6 月 25 日	議案第 8 号	理事長の選定について	選 定
		議案第 9 号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団給与規程の一部を改正する規程の制定について	同 意
		議案第 10 号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団評議員選任・解任委員会委員の選任について	同 意
第 4 回	令和元年 11 月 11 日	議案第 11 号	令和元年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団補正予算（第 1 次）について	同 意
		議案第 12 号	令和元年度第 2 回評議員会の招集について	同 意
		報告事項	(1) 理事長の職務執行状況の報告について (2) 令和元年度社会福祉法人等指導監査結果報告について	
第 5 回	令和 2 年 3 月 17 日	議案第 13 号	大津市堅田第二地域包括支援センター運営業務の受託について	同 意
		議案第 14 号	賃貸借契約の締結について	同 意
		議案第 15 号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団組織及び事務分掌規程の一部改正について	同 意
		議案第 16 号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団役割等級規程の一部改正について	同 意
		議案第 17 号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団事務決裁規程の一部改正について	同 意
		議案第 18 号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団経理規程の一部改正について	同 意
		議案第 19 号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団就業規則の一部改正について	同 意
		議案第 20 号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団育児休業等に関する規程の一部改正について	同 意
		議案第 21 号	社会福祉法人大津市社会福祉事業団給与規程の一部改正について	同 意
		議案第 22 号	積立金の取崩及び積立について	同 意
		議案第 23 号	令和元年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団補正予算（第 2 次）について	同 意
		議案第 24 号	令和 2 年度社会福祉法人大津市社会福祉事業団事業計画及び予算について	同 意
		議案第 25 号	施設長の任免について	同 意
議案第 26 号	令和元年度第 3 回評議員会の招集について	同 意		

開催回等	開催・付議年月日	議案番号	付 議 事 項	議事結果
		報告事項	(1) 理事長の職務執行状況の報告について (2) 令和元年度社会福祉法人等指導監査結果報告について	

5 監事監査

監査種別	執行期日	主な監査項目
決算監査	令和元年5月30日	平成30年度事業実施状況 平成30年度収支決算状況
半期監査	令和元年10月30日	令和元年度上半期事業実施状況 令和元年度上半期収支状況

6 加入団体（抜粋）

(1) 独立行政法人 福祉医療機構		(2) 社会福祉法人全国社会福祉事業団協議会	
加入年月日	平成5年4月1日	入会年月日	平成5年4月1日
共済契約者番号	250154	会員番号	432
社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入のため		年金共済加入と情報交換等のため	

7 事業団施設の種別・名称及び所在地

(令和2年3月31日現在)

種 別	名 称	所 在 地	
主たる事務所	本部事務局	大津市浜大津四丁目1番1号	☎(527)9552
老人福祉センター	大津市立木戸老人福祉センター	大津市木戸58番地	☎(592)1133
	大津市立北老人福祉センター	大津市今堅田二丁目4番1号	☎(573)7123
	大津市立中老人福祉センター	大津市打出浜1番5号	☎(526)2752
	大津市立南老人福祉センター	大津市南郷一丁目14番30号	☎(537)7417
	大津市立東老人福祉センター	大津市玉野浦6番33号	☎(545)5970
老人デイサービスセンター	大津市立木戸デイサービスセンター	大津市木戸709番地	☎(592)8022
	唐崎デイサービスセンター	大津市唐崎三丁目17番35号	☎(578)6488
	晴嵐デイサービスセンター	大津市北大路一丁目9番2号	☎(537)3909
	三大寺デイサービスセンター	大津市三大寺8番D3-101号	☎(545)3991
ヘルパーステーション	木戸障害者相談支援・居宅介護支援事業所	大津市木戸709番地	☎(592)8022
	堅田すこやかヘルパーステーション	大津市本堅田三丁目17番14号	☎(573)7814
	比叡すこやかヘルパーステーション	大津市坂本六丁目1番11号	☎(578)8330
	中すこやかヘルパーステーション	大津市浜大津四丁目1番1号	☎(527)1295
	膳所すこやかヘルパーステーション	大津市膳所二丁目5番5号	☎(522)1304
	南すこやかヘルパーステーション	大津市南郷一丁目14番30号	☎(534)0319
	瀬田すこやかヘルパーステーション	大津市大江三丁目2番1号	☎(545)0301
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム榛原の里	大津市真野普門三丁目1120番地	☎(573)9901
その他施設	大津市ふれあいプラザ	大津市浜大津四丁目1番1号	☎(527)8351
	大津市立木戸コミュニティセンター	大津市木戸709番地	☎(592)8022

*特別養護老人ホーム榛原の里については、平成23年4月1日 大津市から建物の無償譲渡を受け、事業団所有として、所有権移転登記を完了した。

なお、土地は大津市（一部民間所有者）からの有償による借地である。

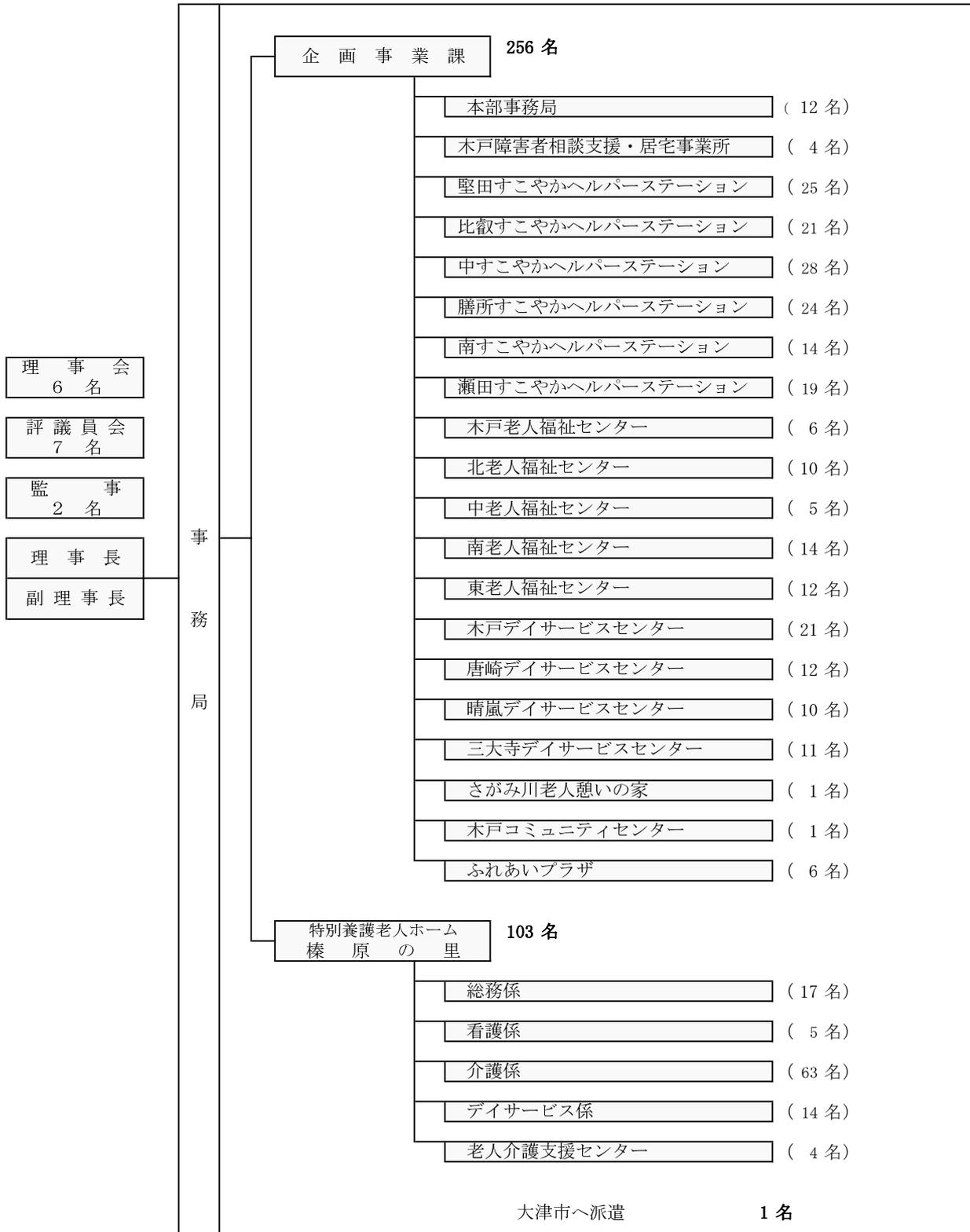
建物の種類・構造・床面積等

・鉄筋コンクリート・鉄骨造3階建 6,175.43㎡ ・倉庫、車庫 鉄骨造平屋建 102.00㎡

社会福祉法人大津市社会福祉事業団組織図

理事長 船見 順
平成5年2月1日設立

令和2年3月31日現在



職員内訳	正規職員	98名	(企画事業課6名、ヘルパーステーション39名、榛原の里52名、大津市派遣1名)
	嘱託職員	57名	
	契約職員	106名	
	パートヘルパー	91名	
	年休対応職員	15名	
	嘱託医・産業医	8名	
	合計	375名	

【本 部】

事業団本部事務局では、社会福祉法人としての適正な業務管理体制の維持・改善に努めるとともに、介護・福祉サービス事業者としての存在価値を高め持続的発展を図るため、中期計画に基づく改革プロジェクトを実施した。

1. 業務管理体制の状況

(1) 契約審査委員会

一定額以上の工事・修繕や業務委託、物品の購入やリース契約等にあたっては、契約審査委員会にて入札案件の仕様書や随意契約業者の選定等について審査を行い、適正な業務執行を図った。

契約審査委員会 開催実績	
令和元年度開催状況	開催回数 7回 審査件数 延べ22件
主な審査案件名	① 榛原の里居室改修工事 (契約予定金額 約23百万円) ② 空調設備更新工事 (年間支払い総額 約7百万円) ③ 真野地域包括支援センター施設整備工事 (入札参加業者選定) 他

(2) 安全衛生委員会

職員の健康管理と職場での労働災害の防止を目的に安全衛生委員会を定期開催するとともに、職場巡視や腰痛調査等、現場での危険予知活動の推進等を行った。

会議等	開催期日	主な議事等						
第1回委員会	令和元年 6月28日	平成30年度健康診断の結果について 令和元年度重点施策及び事業計画について						
第2回委員会	令和元年 11月29日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度定期健康診断結果 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>326人</td> <td>310人</td> <td>95.0%</td> </tr> </tbody> </table> 職場巡視結果 (特養榛原の里 大きな指摘なし) 	対象者	受診者	受診率	326人	310人	95.0%
対象者	受診者	受診率						
326人	310人	95.0%						
労働衛生推進	令和2年2月 年2回	健康教育実施 講師：西山順三産業医 「職場環境の改善でストレス解消」参加人数38名 各事業所職場点検の実施						

2. 事業団改革プロジェクト

(1) 中期計画進捗会議／中期計画進捗会議事務局会議／実績会議への報告

第2期中期計画(平成30～32年度)2年目では、昨年度と同様に職員への説明会を開催し、計画の浸透を深めるとともに、特に集中的に取り組む内容に重点を置き実行した。

中期計画関連会議等 開催実績		
会議名称	開催日	主な議事
事務局会議①	平成31年4月25日	<ul style="list-style-type: none"> 第2期中期計画(1年目)進捗状況及び振り返り 第2期中期計画(2年目)進捗会議の設置について 中期計画説明会(一般職員向け)の開催計画 単年度計画実施スケジュール及び推進体制の事業部門別原案について
事務局会議②	令和元年5月10日	<ul style="list-style-type: none"> 第2期中期計画進捗会議の開催について 第2期中期計画(2年目)実施内容説明及び最終協議 中期計画進捗会議の進め方について
進捗会議①	令和元年6月14日	<p>【全体会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2期中期計画(1年目)の成果と反省 令和元年度中期計画進捗管理体制 令和元年度単年度計画(法人プロジェクト) <p>【事業部門別会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2期中期計画(1年目)進捗状況の確認及び振り返り 第2期(2年目)事業部門別計画の概要と推進体制確認 令和元年度単年度計画実施スケジュールの作成 プロジェクト別推進担当者及び責任者選定
中期計画職員説明会 (全8回、各1時間)	令和元年6月18日、 21日、25日、28日 7月18日、23日、 25日、8月5日	出席者数144名(常勤職員参加率78%) (説明内容)・第2期中期計画概要について ・部門別の単年度計画について ・質疑応答
進捗会議②	令和元年7月10日	<p>【事業部門別会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業部門の単年度計画についての修正点確認 各事業部門の実施スケジュール及び担当者の決定 各事業部門から発表する内容を協議 <p>【全体会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業部門から令和元年度の取り組み内容報告(テーマ)①第2期中期計画(2年目)の中で集中的に取り組むプロジェクト ②集中的に取り組むプロジェクトの将来展望について
事務局会議③	令和元年12月17日	<ul style="list-style-type: none"> 第2期中期計画(2年目)説明会実施結果報告 1次補正後経営指標算出結果及び計画進捗状況について
事務局会議④	令和2年2月25日	<ul style="list-style-type: none"> 第3回中期計画進捗会議の進め方について 第2期中期計画(2年目)の振り返り及び次期計画での取扱いについての協議
進捗会議③	令和2年3月11日	<p>【事業部門別会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2期中期計画(2年目)実施後の振り返り及び次年度への申し送り事項協議 <p>【全体会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業部門より第2期中期計画(2年目)における成果、反省及び次年度へ申し送るべき内容について報告

(2) 経営改革推進会議

平成 29 年度の赤字を解消し、経営体質の改革を図るため中期計画(第 2 期)においては、事業部門ごとに経営改革推進会議を設置し、本部事務局がその運営支援を行った。

【事業部門】 経営改革推進会議名	開催回数	実施項目
【特養・短期部門】 経営安定化 プロジェクトチーム (7名)	9回	<ul style="list-style-type: none"> ・特養職員不足に伴う職員配置及び体制の見直し ・別館入居者、利用者の人数調整の提案及び検討 ・新規介護職員採用による新規入居者受入れスケジュール検討
	主な成果	
	<ul style="list-style-type: none"> ・本館を満床とし、別館の利用者数を半減することで本館に職員を集中させ、夜勤応援体制等を構築することができた ・新規採用職員の採用を継続的に行ない人員確保する一方、新規入居者受入れスケジュール検討を行ない、結果として12月より新規入居者の受入れを再開することができた 	
【事業部門】 経営改革推進会議名	開催回数	実施項目
【通所部門】 収益改善検討委員会 (6名)	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・経費削減に向けた検討 ・年休対応介護職員の確保による労働環境の改善に向けた検討
	主な成果	
	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品等に関して、現在購入を行なっている店のみではなく、100円均一での購入や一括購入で単価を下げる等、工夫により経費を削減することができた ・介護職員不足の中、過去に事業団で勤務されていたOG・OBに声掛けを行ない、年休対応介護職員へ登録してもらうことで、職員が安心して年休取得することができるようになる等、労働環境の改善を図ることができた 	
【事業部門】 経営改革推進会議名	開催回数	実施項目
【在宅部門】 業務の効率化検討委員会 (5名)	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント、個別支援計画書、モニタリング、手順書等について書式の統一について検討を行なった
	主な成果	
	<ul style="list-style-type: none"> ・各ステーションで書式が異なっていたが、統一することができた ・書式で改善点があればその都度変更等について検討していく仕組みができた 	
【在宅部門】 介護プラン検討部会 (6名)	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供責任者の意識改革
	主な成果	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーよりサービス提供責任者としての役割等を学ぶことで、職員の意識向上を図ることができた 	
【居宅部門】 居宅のあり方検討会 (4名)	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・特定事業所加算取得に向けた検討 ・業務改善による生産性向上に向けた検討 ・ケアマネジャー向けアンケートの実施
	主な成果	
	<ul style="list-style-type: none"> ・加算取得に向け、特定事業所加算取得事業所の選定及び事業所再編について方向性が定まった ・業務支援ソフトについて確認を行なうなど、導入に向け検討を行なうとともに、日々使用しているPCの更新の必要性についても情報共有できた 	

(3) 人事・給与制度改革

令和元年10月からの特定処遇改善加算の取得、令和2年4月からの事業・組織改革及び同一労働同一賃金の施行に対応するため、必要な制度、諸規則の改正案作成等を行った。

主な会議体の設置目的と構成メンバー		
役割定義検討委員会	2回	モデル組織図と役割基準書の改正原案を作成し、理事長に答申する。
	7名	事務局長(委員長)、在宅・居宅2名、通所1名、特養・短期1名、事務局2名
キャリアパス委員会	2回	役割基準書に基づき、各役割への任命候補者を理事長に答申する。
	5名	事務局長(委員長)、在宅・居宅1名、通所1名、特養・短期1名、事務局1名
コア会議	6回	制度設計を行い、関連規則の改正案を作成。各委員会の事務を担当。
	7名	理事長、事務局長、コンサルタント1名、事務局4名

人事・給与制度改革関連会議等 開催実績		
会議名称等	日付	主な検討項目
コア会議(25)	令和元年8月19日	・同一労働同一賃金への課題整理 ・特定処遇改善手当の基本設計について
キャリアパス委員会①	令和元年9月10日	・令和元年10月の人事異動に伴うグレード評価について
コア会議(26)	令和元年10月29日	・同一労働同一賃金のための非正規職員の賃金について
コア会議(27)	令和元年11月28日	・事業・組織改革に伴う役割基準・給与改定について ・役割定義検討委員会の開催について
コア会議(28)	令和元年12月24日	・同一労働同一賃金のための賃金単価の見直しについて ・福利厚生制度の見直しについて
コア会議(29)	令和2年1月28日	・役割定義検討委員会への提出予定資料について ・特別休暇の見直しについて
役割定義検討委員会①	令和2年1月31日	・事業・組織改革に伴う役割基準書の改正について ・役割評価の新指標「地域課題解決」の導入について
役割定義検討委員会②	令和2年2月6日	・役割基準書改正案の答申について
コア会議(30)	令和2年2月21日	・特別休暇の見直しについて ・諸規則の改正案について
キャリアパス委員会②	令和2年3月4日	・令和2年4月の人事異動に伴うグレード評価について
施設長・ヘルパー所長 合同会議	令和2年3月6日	・役割基準書の改正について ・令和2年4月1日の人事異動について
施設長会 ヘルパー所長会議	令和2年3月10日 令和2年3月12日	・重要な就業規則の変更について ・嘱託・契約職員、パートヘルパーの賃金改定について
理事会	令和2年3月17日	・諸規程の改正について

3. 人材育成

(1) 国家資格等取得及び更新の奨励制度の活用状況

平成30年4月1日から施行している「国家資格等取得及び更新の奨励に関する要綱」に基づき、奨励金及び助成金を令和元年度に研修申し込みを行った職員に支給した。

令和元年度の制度活用実績				
資格の種類	支給対象項目	支給した人数	支給金額合計	うち県補助金*
介護職員初任者研修修了	研修受講	2名	30,000円	20,000円
介護福祉士	実務者研修受講	4名	374,940円	248,000円
	試験合格	5名	100,000円	
介護支援専門員	実務研修	0名	0円	
	更新研修	10名	100,000円	
令和元年度支給額 合計			604,940円	268,000円

(*) 滋賀県介護職員研修受講支援事業費補助金を申請し、支給額の3分の2の補助金を受けている。

4. 職員の入職・退職状況（事業団全体）

(1) 令和元年度の入・退職実績人数（H31.4.1～R2.3.31）

雇用形態	正 規	嘱 託	契 約	パートホームヘルパー	合計
入 職	13名	9名	20名	9名	51名
退 職	10名	7名	10名	4名	31名
H31.4.1 在職人数	98名	62名	114名	86名	360名
離職率	10.2%	11.3%	8.8%	4.7%	8.6%

※ H31.4.1 現在人数には嘱託医、年休対応職員を含む

(2) 令和元年度 職員募集・採用選考実施状況（令和2年度入職予定者含む）

募集職種		選考実施回数	応募者数	採用決定者数	採用決定者内訳
正 規 職 員	ケアワーカー（榛原）	11回	13名	8名	
	ホームヘルパー	3回	4名	2名	うち1名はパートヘルパーから登用
	ケアマネジャー	5回	7名	5名	うち1名は嘱託職員から登用
	看護職員（榛原）	2回	3名	1名	
	合 計	21回	27名	16名	
募集職種		採用決定者数	応募のきっかけ		
パートホームヘルパー		10名	事業団開催の初任者研修(4)、職員からの紹介(2) 求人誌(1)、その他(3)		

募集方法等：ハローワーク・福祉人材センター、新聞折込・求人誌、福祉のお仕事説明会、人材派遣・人材紹介他

【老人福祉センター】

位 置	大津市立木戸老人福祉センター 大津市木戸58番地 大津市立北老人福祉センター 大津市今堅田二丁目4番1号 大津市立中老人福祉センター 大津市打出浜1番5号 大津市立南老人福祉センター 大津市南郷一丁目14番30号 大津市立東老人福祉センター 大津市玉野浦6番33号
-----	--

事業内容
 ・老人福祉法に基づく老人福祉センター
 ・老人福祉法に基づくデイサービス事業
 （木戸・中老人福祉センターを除く。）

事業報告
 大津市の指定管理を受け管理運営を行っている5か所の老人福祉センターでは、市内在住の60歳以上の高齢者の福祉増進の拠点として、健康等に関する各種相談をはじめ、介護予防のための運動実践として「介護予防講座」を開催する等、利用者が健康で明るく、そして気軽に楽しく過ごせる場の提供を行っている。令和元年度は、それぞれのセンターの講座・サークル等の利用者が、日頃の成果を発表する高齢者趣味講座発表会（第25回）を開催し、生きがいきり及びセンター間の交流を深めた。また、平成21年10月より開催している介護予防講座「ずーっと元気体操」は大変好評を得ており、昨年度と同様の開催回数（週2回）で開催するとともに、シニアエアロビクス（木戸老）、歌と音楽の健康体操（中老）、レベルアップ体操（南老）など、介護予防に向けた内容を取り入れた運動教室を令和元年度より新たに開催した。また、1回100円の一般利用者を対象とした入浴サービスも多くの利用者から好評を得ている。サービス向上の一環として、5月に「菖蒲湯」を2日間実施した。

北、南、東の各老人福祉センターのデイサービス事業では、介護保険法に基づき要介護及び要支援等の認定を受けられた高齢者に対し入浴や食事、日常動作機能回復訓練、レクリエーション等により自立した生活が営めるよう支援等を行うとともに、利用者一人ひとりに対してより一層きめ細かいサービスを提供することに努めた。

今後は、デイサービス事業の取り組み内容等の情報を地域に発信するとともに、地域の方々の情報共有の場である運営推進会議を開催することで、地域のニーズ等の情報収集を行い、サービスに反映させていく。

尚、大津市からの「新型コロナウイルス感染症に係る市の施設閉鎖要請」に伴い、令和2年3月6日より老人福祉センターを閉館し、生きがい事業を休止としている（ただし、デイサービス事業は、継続して実施している）。現在、大津市からの再開要請があり次第事業が開始できるよう準備を行なっている。

1. デイサービス利用状況

項目 \ 施設名	北老人福祉センター	南老人福祉センター	東老人福祉センター	
実施日数	255日	255日	255日	
年間利用延人数	2,765人	3,898人	3,782人	
年間平均利用者数	30年度	11.3人/日	15.4人/日	14.9人/日
	元年度	10.8人/日	15.3人/日	14.8人/日
入浴介助	2,304人	3,291人	3,620人	
サービス提供体制強化加算	加算Ⅰ（イ）	加算Ⅰ（イ）	加算Ⅱ	

2. 老人福祉センター利用状況

(生きがい事業)

項目\施設名	木戸老人福祉センター	北老人福祉センター	中老人福祉センター
開館日	273 日	273 日	273 日
年間 利用 人員	30年度 27,082 人 (1日当り 92 人)	19,183 人 (1日当り 65 人)	40,859 人 (1日当り 139 人)
	元年度 23,975 人 (1日当り 88 人)	17,333 人 (1日当り 64 人)	38,343 人 (1日当り 141 人)
入浴者数	7,602 人 (1日当り 32 人)	10,341 人 (1日当り 44 人)	10,287 人 (1日当り 44 人)
各種相談事業 年間利用人員	医療相談(週1回) 3 人	医療相談(週1回) 1 人	医療相談(週1回) 14 人
	健康・生活相談 58 人	健康・生活相談 107 人	健康・生活相談 475 人
各種教養講座 年間利用人員	朗仁講座(4講座) 160 人	シニア教養講座(1講座) 78 人	俳句教室(月1回) 106 人
	フォークダンス 347 人	和紙人形教室(月1回) 32 人	民謡教室(週1回) 405 人
	源氏茶論 68 人	民謡教室(月2回) 156 人	舞踊教室(月4回) 247 人
	キルトサークル 266 人	歌謡教室(週1回) 1,314 人	茶道教室(表)(月1回) 110 人
	自彊術 258 人	民謡教室(週1回) 153 人	茶道教室(裏)(月2回) 221 人
	絵手紙 627 人	詩吟同好会 84 人	煎茶教室(月2回) 153 人
	太極拳 513 人	癒しの園芸療法 43 人	ちぎり絵教室(月2回) 160 人
			大正琴教室(月2回) 219 人
健康体操 年間利用人員	ざーっと元気体操 3,680 人	ざーっと元気体操 2,564 人	ざーっと元気体操 3,084 人
	健康体操 63 人	健康体操 259 人	健康体操 272 人

項目\施設名	南老人福祉センター	東老人福祉センター
開館日	273 日	273 日
年間 利用 人員	30年度 32,212 人 (1日当り 110 人)	25,769 人 (1日当り 88 人)
	元年度 27,877 人 (1日当り 102 人)	18,926 人 (1日当り 69 人)
入浴者数	10,158 人 (1日当り 43 人)	6,612 人 (1日当り 28 人)
各種相談事業 年間利用人員	医療相談(週1回) 18 人	医療相談(週1回) 60 人
	健康・生活相談 50 人	健康・生活相談 0 人
各種教養講座 年間利用人員	民謡教室(週1回) 164 人	シニアパソコン 147 人
	気功教室(月2回) 163 人	若葉会(手芸) 264 人
	詩吟教室(週1回) 209 人	舞踊教室(週1回) 398 人
	漢字書道教室(月2回) 98 人	大正琴教室(月2回) 106 人
	かな書道教室(月2回) 176 人	日本手毬(月1回) 38 人
	ちぎり絵教室(月2回) 277 人	太極拳 373 人
	民謡教室(月2回) 195 人	
大正琴教室(月2回) 189 人		
健康体操 年間利用人員	ざーっと元気体操 3,066 人	ざーっと元気体操(体操) 1,508 人
	健康体操 85 人	ざーっと元気体操(気功) 1,857 人
		健康体操 172 人

※入浴実施状況 各老人福祉センターとも (週5日) 火・水・木・金・土

※5センター利用者合計 元年度 126,454 人 30年度 145,105 人
(1日あたり 463 人) (1日あたり 495 人)

※大津市の要請により、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3月6日より老人福祉センター(生きがい事業)を休止としている

【デイサービスセンター】

位 置	大津市立木戸デイサービスセンター	大津市木戸709番地
	唐崎デイサービスセンター	大津市唐崎三丁目17番35号
	晴嵐デイサービスセンター	大津市北大路一丁目9番2号
	三大寺デイサービスセンター	大津市三大寺8番D3-101号

事業内容 ・老人福祉法に基づく老人デイサービスセンター

事業報告 木戸、唐崎、晴嵐及び三大寺デイサービスセンターで実施しているデイサービス事業では、介護保険法に基づき要介護及び要支援等の認定を受けられた高齢者に対し入浴や食事、日常動作の機能回復訓練、レクリエーション等により自立した生活が営まれるよう在宅福祉の支援に努めるとともに、利用者一人ひとりに対し、より一層きめ細かいサービスを提供することに努めた。また、地域と密着したデイサービスを目指すため、センターで開催する行事（夏祭り等）に地域の方々を招待し交流を深めた。今後は、地域との連携強化を目的に開催される地域連絡会へ積極的に参加するとともに、地域との情報共有の場をセンターで設け、地域のニーズ等の情報収集を行い、サービスに反映させていく。さらに、木戸デイサービスセンターでは、利用者ご自身の自立に向けた支援や日常生活の充実を目的に、理学療法士による機能訓練（リハビリ）をご利用者の心身状況に応じて実施した（年間利用者数 2,532人）。

唐崎及び三大寺デイサービスセンターでは、生活援助員派遣事業（シルバーハウジング世話付住宅）を行い、入居者に対する安否確認や日常の生活援助を行うため生活援助員を配置し、安心した生活が営まれるよう支援を行った。シルバーハウジングの入居状況は、令和2年3月末現在で、唐崎10世帯(内、独居9世帯)、三大寺27世帯(内、独居19世帯)である。

また、唐崎デイサービスセンターでは、地域の高齢者へ施設を開放し、1回100円の一般利用者を対象とした入浴サービスなどを行っている。又、サービス向上の一環として、5月に「菖蒲湯」を2日間実施した。唐崎デイサービスセンター一般利用者合計 年間9,785人

(1日あたり 36.0人)

尚、大津市からの「新型コロナウイルス感染症に係る市の施設閉鎖要請」に伴い、令和2年3月6日より唐崎デイサービスセンターの一部を閉鎖、生きがい事業を中止している（ただし、デイサービス事業は、継続して実施している）。

1. デイサービス利用状況

項目 \ 施設名	木戸デイサービスセンター	唐崎デイサービスセンター	晴嵐デイサービスセンター	三大寺デイサービスセンター	
実施日数	257日	255日	257日	257日	
年間利用延人数	7,147人	3,888人	3,615人	2,493人	
年間平均利用者数	30年度	28.5人/日	14.2人/日	14.3人/日	10.2人/日
	元年度	27.8人/日	15.2人/日	14.1人/日	9.7人/日
入浴介助	5,436人	3,481人	3,200人	2,342人	
サービス提供体制強化加算	加算Ⅰ(ロ)	加算Ⅱ	加算Ⅰ(イ)	加算Ⅱ	

【ホームヘルプサービス事業】

- 事業内容
- ・老人福祉法に基づく老人居宅介護等事業
 - ・介護保険法に基づく居宅介護支援事業
 - ・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業
(居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護)
 - ・障害者移動支援事業(大津市委託事業)
 - ・多胎児家庭育児支援事業(大津市委託事業)
 - ・生活応援サービス(自費サービス)

事業報告

1. ホームヘルプサービス

パートホームヘルパーが前年度から6名少なくなり、また高齢化により1人あたりの稼働時間も減少傾向にあり、経営環境は厳しさを増している。利用者数は事業全体で前年度に比べ8.3%減少したが、処遇改善加算ⅢからⅠへの変更、特定処遇改善加算の取得により、収入は3.9%増加した。今後は、

- ① パートヘルパーの確保・定着を重点的に行い、サービスの依頼に応えられる体制を構築する。
- ② 各職位の職務を明確にし、担当が不明確だった後進の指導や職場環境の改善を推進することで、サービスの質を高める。
- ③ 業務のICT化を実現することで、生産性を高め訪問時間を確保することにより、収入増を図る。

以上の事を行い、更なる利用者増、および収益の改善を図る。

ホームヘルパー利用実績

・平成30年度

区分	年間延利用人数	月平均	年間利用時間
介護保険(訪問・総合事業)	6,389人	532人	55,605時間
障害福祉サービス事業	1,961人	163人	18,136時間
障害者移動支援事業	62人	5人	322時間
多胎児育児支援事業	91人	8人	475時間
計	8,503人	708人	74,538時間

生活応援サービス	324人	27人	294時間
----------	------	-----	-------

・令和元年度

区分	年間延利用人数	月平均	年間利用時間
介護保険(訪問・総合事業)	5,739人	478人	49,332時間
障害福祉サービス事業	1,920人	160人	17,799時間
障害者移動支援事業	59人	5人	340時間
多胎児育児支援事業	78人	7人	242時間
計	7,796人	641人	73,739時間

生活応援サービス	241人	20人	400時間
----------	------	-----	-------

2. 居宅介護支援事業

堅田を除く6ヶ所のヘルパーステーションと榛原の里に介護支援専門員（ケアマネジャー）を配置し、介護保険法に基づく居宅介護支援事業を実施した。また、介護予防支援の一部委託業務を市地域包括支援センターから受託した。これらの事業においては、利用者や家族の希望を基に利用者の心身の状態、環境等に応じた適切なケアプランを作成し、居宅介護サービス事業所等と連携を図り、利用者の自立支援に向けた円滑なサービスの提供が図れるよう努めた。

利用状況では、利用者数が介護支援で前年に比べ5.8%増加し、予防支援（総合事業の介護予防ケアマネジメントを含む）で6.1%増加している。収入で5.6%の伸びを示している。

今後は、事業所の再編を行う中で、管理者に主任ケアマネジャー配置し、ケアマネジメントの質の向上を図るとともに、特定事業所加算を取得することにより収益の改善を図っていく。

居宅介護支援事業所実績件数

(1) 居宅介護支援、介護予防支援（ケアプラン作成）

・平成30年度 (単位：件)

区 分	居宅介護支援件数		介護予防支援受託件数		合 計	
	年間計	月平均	年間計	月平均	年間計	月平均
6ヘルパーステーション 榛原の里居宅	5,171	431	1,887	157	7,058	588

・令和元年度 (単位：件)

区 分	居宅介護支援件数		介護予防支援受託件数		合 計	
	年間計	月平均	年間計	月平均	年間計	月平均
6ヘルパーステーション 榛原の里居宅	5,469	456	2,002	167	7,471	623

(2) 要介護（要支援）認定訪問調査

要介護（要支援）認定のための訪問調査業務を大津市等から受託し、介護支援専門員が業務を実施した。

・平成30年度 (単位：件)

区 分	訪問調査件数	
	年間計	月平均
6ヘルパーステーション 榛原の里居宅	348	29

・令和元年度 (単位：件)

区 分	訪問調査件数	
	年間計	月平均
6ヘルパーステーション 榛原の里居宅	389	32

【障害者相談支援事業】

- 事業内容
- ・大津市からの委託による障害者の相談支援事業
 - ・障害者総合支援法に基づく障害者一般相談支援事業・特定相談支援事業
 - ・児童福祉法に基づく障害児相談支援事業

事業報告 木戸デイサービスセンター内に、木戸障害者相談支援センターを開設し、専任の相談員1名が相談事業に従事している。

市からの委託料 月額262,500円

個別訪問調査委託料 1件 6,920円

サービス利用支援 1件 17,076円

継続サービス利用支援 1件 13,886円

主な支援方法は、訪問や来所による相談、同行、関係機関との調整などであり、支援内容は福祉サービスの利用方法・事業所等の紹介、社会参加・余暇活動の紹介、家族関係・人間関係の調整、サービス等利用計画の作成とそれに伴うモニタリングの実施、障害支援区分の認定調査などである。

相談実績 個別相談支援活動の件数

支援方法	30年度		令和元年度	
	人数	延べ回数	人数	延べ回数
訪問	94	665	94	621
来所相談	10	17	10	18
同行	12	17	14	20
電話相談	44	260	41	246
電子メール	4	13	10	49
個別支援会議	24	31	23	42
関係機関	94	1,220	98	1,405
その他	4	4	10	12
書類作成提出	0	0	0	0
合計	98	2,227	99	2,413

※ 個別相談活動の人数については、それぞれの支援方法の人数には重複があり、合計人数は実人数を示しているため、全ての支援方法の人数の合計とは異なる人数となっている。

【特別養護老人ホーム榛原の里】

位 置 大津市真野普門三丁目 1 1 2 0 番地

- 事業内容
- ・老人福祉法に基づく特別養護老人ホーム
 - ・老人福祉法に基づく老人短期入所事業（ショートステイ）
 - ・老人福祉法に基づく老人デイサービス事業

事業報告

1. 特別養護老人ホーム（長期入所）・・・定員 1 1 4 名

今期はおおつゴールドプランにより定員が 1 1 0 名から 1 1 4 名のスタートとなった。しかしながら夜勤介護職員不足に伴いサービスの質の低下、介護事故等が懸念され 1 1 月より施設体制を縮小せざるを得ない状況になり 1 割空床での秋季からの事業変更となり 1 日平均 1 0 3 名（9 割）の稼働状況となった。新年度は人員体制が整い順次、満床になる予定である。

そんな中、ICT 機器の一環として眠りスキャンを試行的に導入しリアルタイムに睡眠状況を観察し利用者の安眠のサポートと安全の成果が出せ、導入に向け方向性が示せた。また導入している他施設見学も実施し職員の労力の効率化にも結び付けることが確認できた。

平成 2 7 年度から取組んでいる事業団中期経営計画については、第 2 期目の 2 年目にあたり『質の高い福祉サービスの提供』をキーワードとして取り組んだ。具体的には倫理委員会を新たに設け既存の〈看取りに関する指針〉を再検討し全職員が看取りに対して共通認識をもち尊厳ある最期が支援できるよう取り組んだ。

また、昨年引き続き滋賀県老人福祉施設研究協議大会に参加して、「食と尊厳」をテーマにケアワーカー 3 名が発表しアセスメントを多角的に行い食事環境を改善することにより食に対する意欲の向上が検証できた。

施設内委員会（研修・広報・給食・衛生・排泄）においては常に課題抽出を行い、全員が課題共有できるようセクション間での連携を意識した運営ができた。処遇向上に向け生活面へのサポートとして生活アセスメントを行うことでニーズを把握し全体カンファレンスを行い、更に日々、ケアマネジャー等が入居者のその人らしい生活を送っていただけるようケアプランを作成し入居者に寄り添った支援を心掛けた。

さらに職員と入居者が一緒に外出する個別処遇の充実や生活状況の報告等家族連携にも努めた。特に家族会の総会では家族から率直な施設への意見や要望を聞き施設運営に反映することができた。

なお、3 月末現在の入所申込者は約 6 1 8 名となっている。入所決定にあたっては透明性を確保するため県が提示している入所ガイドラインに沿って、「入所決定に関する要綱」を定め、第三者委員を含む入所判定委員会を開催し、入所の必要性の高い方から順次、入居いただいている。

※令和2年3月31日現在の状況は次のとおりである。

(1) 入所区分

区 分	男 性	女 性	計
男 女 別	12人	90人	102人
平 均 年 齢	86.8歳	90.1歳	89.7歳

- ・市内入所者 101人 市外入所者 1人
- ・90歳以上 55人 (男性 5人、女性50人)
- ・最高年齢者 104歳(女性) 最低年齢者 68歳(女性)

(2) 要介護区分

要介護度	1	2	3	4	5	平均要介護度
人 数	0	1	36	39	26	3.90
比 率	0%	1.0%	35.3%	38.2%	25.5%	

(3) 入居状況(稼働率)

年度	利用延人数	稼働率	一日当たり入居者数	定員
30年度	38,358人	95.5%	105.1人/日	110床
元年度	37,743人	90.4%	103.1人/日	114床

(4) 心身の状況

- ・ねたきり 27人 (入所者全体の26.5%)
- ・車椅子利用 87人 (" 85.3%)
- ・認知症関係 95人 (" 93.1%)

2. ショートステイ・・・定員16名

寝たきりや認知症など介護を必要とする高齢者を抱える家族が、一時的にご家庭で介護が困難な場合やレスパイトケアを目的に短期入所サービスを利用されるもので、日常生活上の援助等を個別のニーズに基づいた短期入所生活介護サービス計画により提供した。おおつゴールドプランにより20床から16床に変更。夜間介護職員不足により1日平均10名(6割)の稼働状況となった。

・利用状況

年度	利用実数	利用延人数	稼働率	一日当たり利用者数	定員
30年度	473人	6,372人	87.5%	17.5人/日	20床
元年度	316人	3,606人	61.9%	9.9人/日	16床

3. デイサービス・・・定員29名（通常規模型）

要介護、要支援状態または事業対象者（総合事業）と判定された方が、利用者の社会的な孤独感の解消及び心身の機能維持を図るため、また、家族介護の軽減に資するため、個別のニーズに基づいた通所介護サービス計画によりサービス提供に努めた。

今期は「利用者様への対応、言葉遣いに注意しましょう」をモットーに一人一人のスタッフがサービスの充実に努めた。

・利用状況

区 分	実施日数	利用者数	1日当り 利用者数	サービス内容	
				入 浴	食 事
通常 規模型	253日	介護4,808人 予防1,071人 計5,879人	23.2人	4,624人	5,878人

※30年度25.0人/日

4. 令和元年度榛原の里施設整備事業

榛原の里は、平成23年4月1日より大津市から施設譲渡を受け、大津市との間での譲渡に関する協定書により、平成23年度から10年間（平成32年度）で5億円の改修事業を実施する計画である。（市からの補助金は60%の3億円）

令和元年度はその9年目として、下記の事業を実施した。

・施設整備費の内訳

工 事 名		金 額（税込） 円
① 本館1階居室改修工事（令和元年度）		22,883,319
② GHP空調設備更新工事（GHP-6）		6,402,000
③ 空調機更新工事（1F寮母室・2F寮母室）		3,190,000
④ 照明設備更新工事		853,200
合 計		33,328,519
財源内訳	市補助金（6割）	19,997,111
	事業団負担（4割）	13,331,408

【老人介護支援センター榛原の里・居宅介護支援事業所榛原の里】

位 置 大津市真野普門三丁目 1 1 2 0 番地
 事 業 内 容 ・老人福祉法に基づく老人介護支援センター
 ・介護保険法に基づく居宅介護支援事業

事 業 報 告 介護等が必要な高齢者やその介護者に対し、在宅介護に関する総合的な相談に応じ、その介護ニーズに対応した各種福祉サービスが受けられるよう行政機関や介護サービス事業者と調整を図り、手続き代行をするなど、在宅福祉を支援するとともに制度改正等の情報発信に努めた。

利用件数

訪問	来所	電話	その他	計	相談内容 ※重複あり							
					介護関係	医療関係	健康関係	通所関係	訪問関係	施設入所	介護用品	その他
2	1	29	1	33	14	0	0	7	2	0	8	2

ケアマネ受任件数（令和2年3月31日現在）

介護予防 24件 介護101件 計125件【主任ケアマネ1名 ケアマネ2名】
 地域別 堅田34 伊香立29 真野北15 真野13 仰木の里10 仰木 8
 葛川 7 小野 4 他 5

【大津市立さがみ川老人憩の家運営事業】

位 置 大津市膳所二丁目5番5

事業報告 令和元年度から大津市の委託を受け、施設の管理及び運営を行なった。
さがみ川老人憩の家では、市内に居住する60歳以上の高齢者の心身の健康増進を図ることを目的に、入浴事業を実施した。

利用状況

入浴者数

年 度	項 目	開館日	入浴者数
1	年間計	130日	3,673人
	1日平均		28.3人

※大津市からの「新型コロナウイルス感染症に係る市の施設閉鎖要請」に伴い、令和2年3月6日より施設を閉鎖した。

【ふれあいプラザ】

位 置 大津市浜大津四丁目1番1号（明日都浜大津4・5階）

事業の種別 公益事業

事業報告 大津市の指定を受けた指定管理者として、明日都浜大津の4階、5階の貸室業務を中心に、施設の運営及び維持管理等を行っている。

「大津市ふれあいプラザ」の設置目的を理解し、市民の福祉の増進及び市民の交流の促進に貢献する場の提供を心掛けた。

今年度の自主事業は、貸室利用サークルの作品展を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期となった。

また、ホームページによる貸室予約状況の情報提供や複合施設の利点を生かした貸室の利用促進を行うなど、効率的な管理を推進するとともに、維持管理等については、大津市と連携して備品の計画的更新や空調設備や照明器具など施設の経年劣化に伴う修繕を実施した。

貸室利用状況

貸室区分：ホール、視聴覚室、大会議室、中会議室、小会議室、和室

開館日数：354日（平成30年度353日）

	項 目	貸 室 件 数	利 用 者 数
30年度	年 間	3,602件	85,848人
	1日平均	10.2件	243.2人
元年度	年 間	3,450件	81,100人
	1日平均	9.7件	229.1人

【介護員養成研修事業】

事業の種別 公益事業
滋賀県介護員養成研修事業実施要綱に基づく知事指定研修

事業報告 (1) 介護職員初任者研修課程

事業団では、平成16年度から訪問介護員養成研修事業を実施し、延べ509名（平成16年度～令和元年度の累計）が修了し、多くの方が介護分野で就業頂いているところである。

平成25年度から、介護職員養成研修の見直しが行われ、現行の研修を簡素化し、在宅・施設を問わない介護職の入口として、「介護職員初任者研修」が創設された。事業団でも、平成25年度から新しい研修に移行し、令和元年度は6月に開講、24名が修了した。

今後も、介護保険制度のもと、高齢者の増大かつ多様化するニーズに対応した適切なサービスを提供するため、必要な知識、技能を有する介護職員の養成に努めていく。

実施期間	令和元年6月4日～令和元年11月26日までの24日間 (延べ137時間)
受講者数	24名（定員30名）・・・修了者24名
受講料	30,000円 介護に関わる人材が不足している中で、少しでも人材を増やす事が求められており、より研修を受けやすくするため、又、事業団として社会貢献を積極的に展開する一助となるよう、受講料を安価に設定している。

(2) 生活援助従事者研修

生活援助従事者研修は、平成30年度に新設された掃除、洗濯、調理など生活援助サービスを提供する人材を育成するための研修であり、大津市の委託を受けて実施した。令和元年度は10月に開講し、15名が修了した。

実施期間	令和元年10月7日～令和元年12月12日までの12日間 (延べ59時間)
受講者数	15名（定員30名）・・・修了者15名
受講料	無料

【木戸コミュニティセンター】

位 置 大津市木戸709番地

事業の種別 公益事業

事業報告 平成21年度から大津市の指定を受けた指定管理者として管理・経営を行った。

木戸コミュニティの各施設について、福祉、教育等をはじめとする地域の交流の場及び人と人とのふれあいや心のつながりを深める場として、広く市民に提供し、さらに多くの市民に利用されるよう情報提供を図って、効率的な貸室業務を実施した。

貸室利用状況

貸室区分：集会室、和室1、和室2、調理実習室

実貸室日数：275日（30年度277日）

年 度	項 目	貸 室 件 数	利 用 者 数
30	年間計	578件	6,432人
	1日平均	2.0件	23.2人
1	年間計	600件	5,817人
	1日平均	2.1件	21.2人